

カリキュラム 区分		授業 科目	看護学原論 B Introduction to Nursing Theories B			担当 教員	石原 逸子 (専任) 川上 由香 (専任) 林 千冬 (専任)	
開講年次	1年次後期	単位数	1単位	科目 分類	看護学科目	授業形態	講義	
選択必修	必修	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		実践の学としての看護学を、その成り立ちと本質、人々の健康と取り組みへの支援、社会的観点から理解し、学問的探究の方法論についての基礎を得る。						
授業のキーワード		セルフケア 病気と疾患 看護実践 看護理論 看護職者の責務 医療安全 キャリア						
講義回数	授業内容及び計画							
1回	看護概念の模索							
2～4回	人々の生活と健康 基本的ニーズとその充足 生活習慣とセルフケア							
5～9回	看護概念の模索 看護理論を読む(グループワークと発表)							
10回	看護倫理							
11～12回	医療安全と看護職者の役割							
13回	キャリア開発							
14回	看護援助のプロセス							
15回	まとめ							
テキスト	川村佐和子他著：ナーシンググラフィカ16 基礎看護学 看護学概論第3版、メディカ出版(2009) 日本看護協会編：看護者の基本的責務、日本看護協会出版会(2006) 川島みどり監修：学生のためのヒヤリハットに学ぶ看護技術、医学書院(2007)							
参考文献	D. オレム著、小野寺杜紀訳：オレム看護論—看護実践における基本概念、医学書院(2008) マリナー・トメイ著、都留伸子監訳：看護理論家とその業績、医学書院(2004) F. ナイチンゲール著、湯横 ます他訳：看護覚え書、現代社(2008)							
成績評価の方法と基準		評価：筆記試験(80)・授業中の小レポートおよび出席点・グループワーク発表(20)						
教員から学生へのメッセージ		看護とは何か、看護師とはどのような役割を持つ職種かを理解するための授業です。 皆さんの将来の基礎固めとして、単に知識を得ることだけではなく、疑問をもち調べる、友人たちと議論して考えを発展させる、自分で発見し創り出す、このような学習姿勢を身につけていくことを期待しています。						